

アイシン新和株式会社

Table with 2 columns: 銘柄コード, 法人番号. Values: -, 8230001007468

Table with 3 columns: 日本標準産業分類, コード, 項目名. Includes 31 輸送用機械器具製造業 and 3113 自動車部分品・附属品製造業.

*は選択開示項目

Table with 4 columns: 項目, 2023年度実績, 2022年度実績, 単位. Includes エネルギー総使用量 (974,201 GJ) and 調整後温室効果ガス排出量 (64,590 t-CO2).

【エネルギーの使用の合理化】

Table showing energy efficiency metrics: 主たる事業におけるエネルギー消費原単位 (99.3), 事業者全体のエネルギー消費原単位対前年度比 (102.8), 5年度間平均原単位変化率 (100%).

※主たる事業は、必ずしもエネルギー消費量の多寡で決定されるものではなく、日本標準産業分類の考え方に基き各事業者が決定したものを、

【電気の需要の最適化】

Table showing electricity demand optimization: DR実施日数, 事業者全体の電気需要最適化評価原単位対前年度比 (非開示), 5年度間平均原単位変化率 (非開示).

【ベンチマーク指標の状況(合理化)】

Table with 3 columns: ベンチマーク区分, 目指すべき水準, ベンチマーク指標の状況. Multiple rows showing benchmark status.

【調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた認証排出削減量の量】

Table with 2 columns: 種別, 合計量. Shows 非開示 for all categories.

【非化石エネルギーへの転換】

Table showing transition to non-fossil energy: 電気の非化石比率 (25.0%), 目安(2030年度), 目標(2030年度), 直近5年度間の実績値 (26.9%).

【取組の概要: 業界の事情等を考慮した取組について(定性的事項)】

Free text area for qualitative measures. Includes sections for 1. エネルギーの使用の合理化に関する事項 and 2. 非化石エネルギーへの転換に関する事項.

※: 本開示シートを開覧するにあたっては「省エネ法定期報告情報の開示制度手引き」を参照をお願いします

【参考情報】

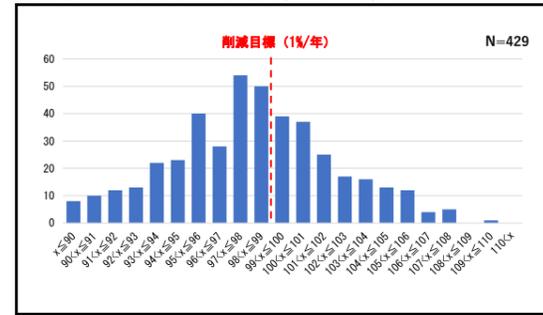
<業界の特色>

輸送用機械器具製造業における主な製品は、自動車、船舶、航空機、鉄道車両及びその他の輸送機械器具です。特に自動車産業は日本の雇用の約10%、輸出の約20%を占める基幹産業であり、日本経済の牽引役となっています。

<定期報告書データに基づく業界毎の集計値>

Table showing industry-wide statistics for 2024 (average, median, maximum) for 3113 自動車部分品・附属品製造業. Includes エネルギー総使用量, 非化石エネルギー総使用量, 調整後温室効果ガス排出量, DR実施日数.

<5年度間平均原単位変化 2024年度報告(2023年度実績)>



【取組の概要: カーボンニュートラルに向けて】

Free text area for carbon neutrality measures. Includes section 1. 自由記述欄 (カーボンニュートラルの実現等に資する事業者独自の取組や革新的技術に係る研究開発等の取組について) and section 2. 関連リンク.